

Tea time

Trust Each other And Take Information on Mutual Enrichment!

就実大学 教育学部教育心理学科

2015年2月1日発行
〒703-8516 岡山市中区西川原1-6-1
TEL.086-271-8111(代表)
Mail:shinri@shujitsu.ac.jp

Vol.4

1

学
科
長
よ
り



一期生の巣立ちにあたり
教育心理学科長 堤 幸一

平成26年度は本学科の完成年度であり、年度末には一期生がいよいよ巣立ちます。進路では教員採用試験突破、優良職場への就職内定など、地道な努力の積み重ねが実った嬉しい報告も多く、また卒業論文へ熱心に取り組んでいる姿には大きな成長を感じさせられます。卒業後も本学科での学びを活かして社会へ貢献してってください。在学生も先輩達に負けないよう各自の希望を叶えるため充実した日々を送りましょう。

堤先生にインタビュー！

取材 4年 齊藤 志織・吉岡 敬之

今回、堤先生に『夢』をテーマにお話を伺いました。堤先生は、小学生の時、ロケットやロボットを作る人になりたい!という夢を持っていたそうです。そのきっかけは、『鉄腕アトム』。人が作ったロボットが、他のロボットの心配をする心を持っていることに感動した、とのこと。心理学の道へ進んだのは、“何年たっても解決されないものを研究したい”という思いがあったから。研究すればするほど謎が深まる心理学に魅力を感じているそうです。



2

新入生研修旅行報告

(2014/4/18-19)



新入生研修旅行に参加して 1年 三島 明日香

私たち教育心理学科1年生は、神戸・姫路に研修旅行に行ってきました。車内でのレクリエーションでは方言クイズをしました。答えをクラスで話し合ったり、その県出身の友達に答えを聞いてみたりと、楽しくクイズに答えていきました。また、ホテルでのレクリエーションでは、1日目に訪れた水族館・ポートタワーで撮ったクラス写真を使いフォトコンテストを行いました。どのクラスも、様々なポーズでクラス写真を撮っていて、楽しむことができました。今回の研修旅行を通して、今まで話をしたことがなかった人と話をしたり、仲のよい友達の新たな一面を発見したりでき、仲間を増やすきっかけになったと思います。これから4年間、この教育心理学科の仲間と協力して、勉強などを頑張っていきたいです。



養護実習を終えて 3年 高橋 あゆみ

9月8日から4週間、母校の小学校で養護実習をさせていただきました。実習校は全校児童123人の小規模校でした。水質調査や保健室に来室する児童の対応、別室登校をしている児童との関わり、運動会の練習など実習を通して様々なことを経験させていただきました。実際に子どもを目の前に行う心身のケアや保健指導には、大学の講義にはないものがあり、実習は特別なものだと思います。養護教諭は、縁の下の力持ちと呼ばれるような存在で、あまり注目されることはありません。しかし、担任とは違い全校児童を見るという点で、子どもたち一人ひとりを把握し、普段の様子や家庭の状況などたくさんの情報を知る必要があると思います。これは養護教諭のやりがいに繋がる部分であり、大変なところでもあると思います。今後は子どもたちを見る目を養い、どう対処していくべきかを大学の講義や教員採用試験の勉強の中で学んでいきたいです。



フムフム



特別支援学校教育実習から学んだこと 3年 坂本 侑子

私は10月に2週間、岡山支援学校で教育実習をさせていただきました。担当した学部は中学部で肢体不自由の生徒と一緒に過ごしました。私はこの教育実習を通してたくさんの素晴らしい経験をしました。生徒が声掛けに反応して目を合わせてくれたり、自分が考えた研究授業で笑顔になってくれたりする姿を見て先生になりたいなと強く思いました。それ以上に、素晴らしいと感じたのは生徒一人一人をよく理解して支援する先生方の姿です。例えば、授業中全身に力が入って緊張状態にあった生徒に優しく触れ、声をかけると表情が和らぎリラックスした状態になる姿を何度か見ました。生徒の顔や仕草を見てその子が何を求めているのか瞬時に理解し支援できる先生方を自分の将来の目標にしたいと強く思いました。この貴重な経験を今後のボランティア活動や教員になるための勉強に活かしていきたいと思います。



きらーん





総合医療福祉施設「旭川荘」を見学しました 1年 佐藤 晶乃

「障害の重さは環境によって変えることができる」と、旭川荘の職員の方がおっしゃったことが印象的でした。職員の方々は、利用者の方が自分の障害を重く感じないような支援や関わり方を心掛けておられました。このお話を聞いて、施設側の配慮や工夫をより深く知ることができました。竜ノ口寮は、主に車椅子生活をしている身体障害者の方が利用されていました。ここは利用者の方が普段の生活ができるような「家」でした。そこでは、誕生日に利用者の方の意向に沿ったメニューを提供したり、

スポーツや手芸などは好きな時間にできるようにしたりするなど、一人一人の主体性が重視される場所でした。これは私が目指す特別支援教育で最も大切なことだと思うので、とても勉強になりました。今回、旭川荘の職員や利用者の方々が見学の場を提供くださったおかげで、私は自分の夢に一步近づくことができましたと思います。これからも施設などでのボランティアや実習で、特別支援教育に必要なことを積極的に学んでいきたいと思います。

ありがとう!



新入生歓迎会を開催しました。2年 膳棚 礼

5月17日に新入生歓迎会を開催しました。新入生歓迎会の役員は1ヶ月前から計画をはじめ、みんなで意見を出し合いながら取り組んできました。当日は、教育心理学科のペアクラスごとにチームを分け、1、2年生合同で障害物競走とバレーを行いました。1、2年生が互いに楽しく交流している姿を見ることができて、役員として嬉しく感じました。初対面の人

同士が多かったと思うので、1、2年生の仲を深めるいい機会になったと思います。3年生の先輩方も、補講がある中、参加してくださいました。おかげでさらに雰囲気も明るくなり、さすが先輩方だなと感心しました。1年生と2年生が関わる機会がなかなかないので、このような行事を大切にしていきたいです。

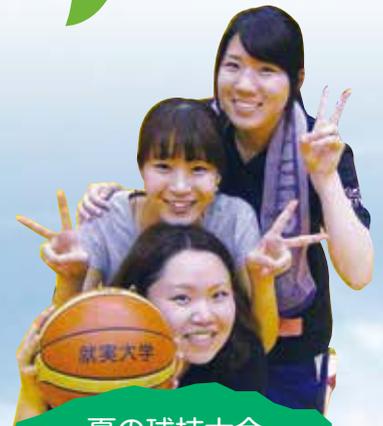




6 球技大会報告 (2014/2/8、2014/8/8)

夏と冬の球技大会を実施して
3年 藤井 誠

昨年から、夏・冬2回の球技大会を実施しています。2014年冬は、2月8日に実施しました。当日、岡山市内でも積雪があったため参加者は20人と少なくなりましたが、男女混合チームでドッチボールをしました。冬の寒さを吹き飛ばす大熱戦でした。夏は、1年生から4年生まで90人が参加して、バレーボールとバスケットボールをしました。ゲームは基本的に男女別で実施しましたが、人数の少ない男子チームには女子も加わり、男子顔負けの活躍をしてくれました。球技大会では、普段、顔を合わせることの少ない他学年の人とも一緒に楽しく汗を流すことができ、親睦を深めることができました。



夏の球技大会
集合写真

夏の球技大会、
堤先生から開会挨拶です



夏の球技大会
接戦です!



8 2014 (2014/10/25-26)

なでしこ祭

キッズワンダーランド

学科企画として、キッズワンダーランド、就実大学教育心理学会(就心会)企画としてハートカフェをオープンしました。それぞれ多くの参加者がありました。



手作り絵本を
読んでます。



私はたこ焼き
屋さん♪



教育心理学科の1・2年生を中心に、
なでしこ祭で子どもたちに楽しんでもらう
遊び場やダンボールハウスをつくりま
した。



森ゼミ

取材 2年 大野 棕子

森ゼミでは、養護教諭免許取得希望者の4年生がノロウイルスについての研究を行っています。他にもくすり教育や、小児保健対策などの研究もできます。



石山ゼミ

取材 2年 入江 史乃 片山 裕梨

石山ゼミでは、3年生で研究の基礎を修得し、研究計画を立てます。4年生で計画に基づき文献や先行研究を行い、調査をします。ゼミでは、自分の研究を発表しディスカッションを行っています。そのため、緊張感がある中で自分の成長を感じる事ができます。



北川ゼミ

取材 2年 雲井 聡子 小松 万浦



なぜ、北川ゼミにしたのですか？

親子関係や夫婦関係に興味がありました。養護だけでなく、教育に関わる心理学全般のことを学べると思ったからです。

ゼミでは何をされているのですか？

子どものしつけや恋愛心理について文献を読んでいます。今後は、選んだ論文について発表し情報共有をします。

北川先生から一言お願いします。

心理学は楽しい分野です。研究は苦しいこともあります。それを乗り越えた先には楽しいことが待っています。



ハートカフェ

素敵な作品がいっぱい！



ギター&エレクトーンの演奏♪



就心会主催のハートカフェでは展示物や演奏、発表を行い、来場者のみなさんに楽しんでいただきました！



山田先生を中心とした親子フラのみなさんによる発表！ハワイに行ったような気分になりました☆



心理検査法実習



取材 1年 鈴木 愛優・曾田 佳奈子
津田 綾奈・永井 佳奈恵

私たちは今回、岩佐和典先生が行う心理検査法実習にお邪魔しました。岩佐先生はユーモアあふれる授業を展開し、誰もが惹きつけられる魅力ある先生です。心理検査には知性や発達を把握する知能検査と心理状態や人格を測定するパーソナリティ検査があります。その中でも今回の授業ではバウムテストと呼ばれるパーソナリティ検査を行いました。バウムテストは木の絵を描き、それをもとに相手の心理状態をみていくというものです。岩佐先生は「絵の特徴を見つけ、それを手掛かりに相手の心理状況を把握し、援助していくことが大切である。」とおっしゃっていました。受講生は熱心に作業に取り組んでおり、一つ一つの解説に耳を傾けていました。この授業を見学してみて、実際に絵を描き体験することを通して実践的な知識を身につけることのできる授業であるという印象を受けました。

2年 片山 裕梨

7月2日、「精神科病院における臨床心理士の役割」という題目で講演会がありました。谷原弘之先生に、心療内科の現状などを初めに教えていただきました。今までに心療内科を訪れたことがなかったので、どういった様子なのか知ることができて勉強になりました。1人の患者さんにかかる時間が長いため、予約が1か月待ちになるということを聞いたときは驚きました。次に、様々な精神疾患と、心理検査について教えていただきました。心理検査について印象的だったのは、木のイラストを自由に描く「バウムテスト」です。木を描くという共通の話題でも、精神疾患の症状によって描く木のイラストが大きく違っていてとても興味かったです。最後に

谷原先生が、様々な人の価値観を認めることが重要であり、そのためにはまず自分を持っていることが大切で、自己肯定感を高めることが必要であるとおっしゃっていました。今回学んだことを今後活かしていきたいです。



(公財) 林精神医学研究所附属林道倫精神科神経科病院

谷原 弘之 先生





11

就活体験記

今年度卒業する教育心理学科1期生の就活体験記です。
大学で学んだことを活かして、それぞれ社会での活躍を期待しています。

一般企業就職

一般企業就職は、自分が希望する就職ができるよう、友だちやキャリアセンター、時には先生と対策をしてきました。就職活動の中で自分の適性や将来についてしっかり考えることができました。

萩原 夏実

JA

大切にすることは、笑顔で、いつもの自分らしくいることでした。就職活動は、合同企業説明会への参加や、履歴書やエントリーシートの添削など、慣れないことばかりで知らないうちに疲れが溜まりやすいです。そんな中でも、いつもの私らしくマイペースで、元気よく面接へ行くようにしていました。理想の企業と出会い、内定を頂けたので、来年の春から楽しみです。



山本 愛里

銀行

就職活動で私が最も大切にしたのは、より多くの情報を仕入れることです。教育学部は残念ながら一般就活に関する情報が入りにくい部分があります。その状況を打開するためには、積極的に就職セミナーや合説、単説に参加することが重要です。また、キャリアセンターに通うことも自信につながります。就活のために欠席する授業の先生方にはご迷惑をおかけするかもしれませんが、感謝の気持ちを忘れないようにしてください。



教員採用試験

教員採用試験は、受験校種に関係なく、みんなで対策を行ってきました。どんな情報も、みんなで共有し、時には先生方からもご指導をいただきながら、一緒に頑張ってきた時間は、とても有意義でした。

城戸 佳奈

愛媛県/岡山県/広島県
養護教諭

やった分は報われる! 友だちと面接や場面指導を練習する機会と、年上の人と話す機会とがあるといいと思います。私は、そういう機会があったので、気持ちに余裕がありました。



黒住 広大

埼玉県
特別支援学校教諭

楽しもう! 同じ試験に挑む人と友だちになることで、緊張がほぐれ、リラックスして受験に取り組むことができました。他県に出ても友だちがいるのでこれからが楽しみです。



細川 弥希

岡山県
小学校教諭

一番努力したのは、毎日コツコツ頑張ること。一緒に頑張った仲間は、一生の財産です。家族や先生、先輩への感謝を忘れず、これから小学校教員として頑張ります。



平成 26 年度
教育心理学科
教員採用試験合格者数

(延べ人数)

養護教諭11名(岡山8、広島1、香川1、愛媛1)…合格率42.3%
特別支援学校教諭3名(岡山2、埼玉1)…合格率37.5%
小学校教諭3名(岡山3)…合格率37.5%

難関突破おめでとう!! 活躍を期待しています!
先輩が開いてくれた教師への道、私たちも後を追って歩みます!

12

看護学臨床

実習報告

(2014/2-3)

4年 長宗 咲裕梨

2週間の看護学臨床実習では、病院の医療スタッフの職務を見学・体験し、医療機関の役割や、患者のために多くのスタッフが連携して最善の医療を提供する「チーム医療」について学ぶことができました。また、医療機関に繋ぐまでに行う救急処置の重要性を改めて感じ、大学の講義内容を復習する良い機会となりました。患者をケアする看護師の姿を見て、看護には最新の医療に関する知識と技術、積極的に援助を行い患者との信頼関係を築く姿勢が必要であり、養護教諭にも学び続ける姿勢と技術、そして温かい人間性が必要だと感じました。



13

研究紹介

教育心理学科 准教授

岡田 信吾先生

取材 3年 土師 あずさ・
横山 寛恵

岡田先生は、特別支援教育に関する授業を担当されています。授業では、具体例に基づく説明や、体験型の授業が多く、学生が理解しやすいように工夫されています。先生の研究テーマは、「障がいのある子どもの学校参加」についてです。現在、肢体不自由の児童・生徒に対しては、本人達の困難を解消するよう、学校の建物がバリアフリー化され、障害があってもそれほど困らずに学校に参加できるようになりつつあります。しかし、発達障害を持つ児童・生徒に対しては、障害特性に基づく支援が十分できているとは言えない状況が多いそうです。さらに、小・中・高といった学校種によって支援に対する考え方に違いがあるとのことでした。現在の研究テーマは、学校現場の教師が障害特性をどのように認識しているのか、さらに特性に応じた支援を学校で行うにはどうしたらよいのかといったことについて研究されているそうです。

今回のインタビューは、特別支援教育について考える良い機会になりました。

編集後記

今年度の学科報は、これまで以上に学生の皆さんが主体的に参加してくれました。記事の作成、インタビュー、紙面のデザインなどそれぞれに活躍してくれました。また、写真を増やし、学科の様子や雰囲気が一目で伝わるように工夫したつもりです。

教育心理学科の前向きで楽しい雰囲気が少しでも伝わったでしょうか？うまく伝わったなら幸いです。 担当 S

ありがとう!



平成26年度 教育心理学科

行事報告

4月1日	入学式	8月7日	就実大学教育心理学会講演会
4月18~19日	新入生研修旅行	8月8日	球技大会
5月17日	新入生歓迎会	8月24日	オープンキャンパス
5月31日	学力向上模試	9月~11月	後期実習(養護実習・特別支援学校実習) 保健実習(小学校実習)
5月~6月	前期実習(養護実習・特別支援学校教育実習・保健教育実習)	10月15日	養護実習報告会(後期)
6月22日	オープンキャンパス	10月25~26日	なでしこ祭学科企画 (ハートカフェ、キッズワンダーランド)
7月2日	キャリア講演会	10月30日	保健教育実習報告会(後期)
7月19~20日	オープンキャンパス	11月29日	学力向上模試
7月18日	保健教育実習報告会(前期)	12月3日	特別支援学校教育実習報告会(後期)
7月23日	養護実習報告会(前期)	2月10日	卒業研究発表会
8月7日	特別支援学校教育実習報告会(前期)	2月10日	球技大会
		2月~3月	看護学臨床実習